



TOKYO CHUO SHIN ROTARY CLUB 東京中央新ロータリークラブ週報

例会日 毎週月曜日(12:30~13:30) 会場 帝国ホテル3F 舞の間

会長 秋葉 良子 幹事 富田 洋平

事務局 〒104-0061 中央区銀座8-11-12 正金ビル2F

TEL 03-5537-0270 FAX 03-5537-0271

<http://blog.livedoor.jp/chuoshin/>

2017-2018年度 国際ロータリーテーマ「ロータリー：変化をもたらす」

本日の例会 第687回 2017年12月21日(木)

合同クリスマス例会

例会報告 第685回 2017年12月4日(月)

出席率 76.92% (出席者37名+メーキャップ3名/正会員55名-休会3名)

理事会だより 本日の議題

- 新会員承認 佐藤幸子様
- 一人一本植樹活動について計画と人事承認(石川和子実行委員長)
- 地区主催「奉仕のついで」参加募集について(3月27日(火)13時00分、赤坂区民センター)
- 組織問題特別委員会設置承認(委員長 宮下文夫会員)
- 特別例会収支報告、12月7日(木)クリスマスコンサートの協賛金について

会長報告(秋葉良子会長)

- 本日は久しぶりに大先輩の辻会員が元気にお顔を出して下さったのでとても嬉しく思います。海外への船旅をお一人で行かれた心意気に感動いたしました。
- 今期は会員の増強が進んでおり、来年早々に3人程入会見込があり、60人体制も見えてきました。今後も30代40代の若手新入会員を増やして活動を盛り上げていければと願っております。

幹事報告(富田洋平幹事)

- 11月2日に次男が生まれ、温士(あつじ)と名付けました。先日クラブから過分な出産祝いを頂戴いたしましたので、本日御礼にドーナツをお配り致しました。
- 本日の配布物は、週報、地区大会お知らせです。
- 地区大会は2月27日(火)です。希望者には昼会食も用意されており、13時点鐘です。入会2年以内の会員は、午前10時30分集合、歓迎会が用意されております。
- 本日13時30分から次年度人事承認等の議題で年次総会が予定されていますので、ご出席をよろしく願います。

米山功労者表彰授与

財団から秋葉良子会長に、第2回の米山功労者マルチプル表彰の感謝状が届き、椎野登貴子会長エレクトから授与されました。

親睦活動報告(大盛敬子親睦委員長)

- 12月21日クリスマス合同例会のプレゼント協賛品ですが、本部から大人用と子ども用に分けて提供下さいとの申入れがありました。
- 参加者をまだまだ募集しておりますので、事務局へ申入れ下さい。
- 新年会1月13日(土)の会場は、手違いで帝国ホテル内「讚アプローゼ」に変更になりました。青山のエノテカのレストランは、次回に又協力下さると申出てくれました。



野原勝敏様 (東京中央RC)	ウィンターシーズンになりました。今年もお世話になります。宜しく。
秋葉良子 会長	特別例会も皆様のお陰で盛会の内に無事済み、又、改めて新入会員さんがこれからも増える予定です。皆様クラブを盛り上げて行きましょう。
石川和子 会員	先月、お誕生日を祝っていただきました。ニコニコおくれ申し訳ありません! 実年齢は忘れる事になっています。
大盛敬子 会員	本日はお忙しい中、安部会長様ありがとうございます。感謝申し上げます。
曾根章乃 会員	辻さん、お帰りのない。又皆で楽しく活動いたしましょう。
田中結加 会員	みなさん12月もよろしくお祈り致します。
辻喜代子 会員	ながい間おやすみしてすみませんでした。104日間29,000マイル無事北半球一周もどりました。
野呂洋子 会員	大学時代の先輩の榎原さんに来て頂きました。日本放送のバリバリです。どうぞ宜しくお願いいたします。
村松 南 会員	来年大河ドラマがはじまるセゴンの末裔西郷君がゲストにいらしています。宜しくお願い致します。

にこにこ合計 26,000円 / 今期累計 455,180円

卓話 吉野家会長 安部修仁様
「吉野家 挑戦と克服の歴史」



- プロフィール
1949年福岡県出身。高等学校卒業後プロのミュージシャンを目指して上京、アルバイトとして吉野家でのキャリアをスタート。1983年 取締役開発本部長、1992年 吉野家ディー・アンド・シー代表取締役社長に就任。2007年 吉野家HD代表取締役社長に就任。2010年 事業会社「吉野家」の代表取締役社長に復帰。2012年 吉野家HD代表取締役会長に就任。2014年5月 吉野家HDの代表取締役を退任。8月 事業会社「吉野家」の代表取締役社長を退任。「吉野家」HD会長にて現在に至る。
- 吉野家松田栄吉のおやじは(以下「おやじ」といいます)、キャッチフレーズを「旨い、早い、安い」としました。明治32年先代創業の吉野家は、創業時に日本橋魚河岸で働く、忙しくて食事もゆっくりとれない職人さんたちのために当時はしりだった高級品だった牛肉とごはんを上等な有田焼の丼で提供する「牛めし」を出して大変評判になっていましたが、戦後おやじが砲兵隊から復員して大学をあきらめて家業を継ぐ決心をして自ら立ち上げたキャッチフレーズに合わせて大改良したのでした。
- 魚市場が築地に移転し、吉野家も移転して新装開店して営業を続け千客万来となり、20席のカウンター席の後ろに二重三重に順番待ちの行列が続くようになりました。食のプロが集う築地なので、味=旨さは高い水準を保ち、江戸前のせつかちに対応したクイックサービスを心掛け、おやじは尋常でない努力を傾注して「旨い、早い、安い」をオリジナリティのあるバリューとして作り上げたのです。
- おやじの言葉に「あってもなくてもいいものはなくてもいい、なくてもいいものはなくてもいい、なくてはならないものを優先しろ」というのがあり、これを突き詰めてオリジナルバリューを追求し、20席の小さな店で年商1億円を計上したのです。
お客様が席に座ってから注文し、牛丼を提供するまで「15秒」を目標としていました。そのためには店長が毎日来るお客様のオーダーを記憶して、絶えず出入口のお客様をチェック把握して素早く1秒に数個の牛丼を盛り付けるクイックさが必要です。
- オーダーには、「頭が重い人」…牛肉大盛、ごはん並盛、「お皿で一丁」…牛肉大盛、ごはん大盛などと店長がメリハリを付けて調理場へ伝え、少しでも手順と動作時間を縮めていました。
お茶の湯呑みをお客様が90度に傾けて飲むようになったら残りが少ないシグナルだからすぐさまお茶のお代わりを提供していました。
- 1970年代には、おやじは吉野家の事業を若い人を育成するための社会的公器にしたいとの思いから、アメリカ生まれのチェーンストアの概念を取り入れ、年商3億円・国内200店舗・米国内200店舗を目標として掲げ、多店舗展開をすすめました。そのため、牛肉の調達量を増やす必要があり米国产牛肉に切替え、又若い人材を店長候補として大量に雇用することとしたのです。私もこの1972年に入社した若手社員の一人でした。
- 残念ながら1980年、吉野家は急速な店舗展開による資金繰りの悪化も重なり、会社更生法を申請し、セゾングループの傘下に入りました。
私は、アメリカ留学中を急遽呼び戻され、発作で倒れたおやじに代わって1983年から営業本部長として事実上再建を指揮しました。その要点を「原点回帰」とし、食材(冷凍肉)を本来の生肉に戻し、店長の能力を上げる手配をし、赤字店を開閉して対応しました。「再建」というものはひとつひとつの対策の効果は小さくてもコツコツ問題点を解決していけば、あるとき一挙に解決へすすむものですが、吉野家の再建もその通り展開し、翌年には黒字化を達成し、5年で全債務を完済し、更生計画を早期達成させることができました。当時は社更生では、1.2割の債権のみを10年から20年かけて返済し、その余の債務は免責されるのが普通でしたが、更生手続のおかげですばらしい結果が達成でき、おやじのプレゼントであるオリジナルバリュー「旨い、早い、安い」を遵守することがまちがっていなかったことを証明できたことがなにより嬉しかったのです。
- 吉野家は1990年に再上場を果たしましたが、そのとき私が営業本部長時代に組合委員長の立場でセゾングループの圧力に耐えて維持した社員持株会が15%の株を持っていたため、社員には億万長者が何人も誕生しました。
- 悪しき状況下でも全力投球を続けることがいいことに繋がり、いいときに調子に乗って傲慢になると悪運を引き込むことに繋がります。私はその後いろいろな企業の再建に管財人として協力してきましたが、どこが危険だったのかトレースしてみると一番の絶頂時に根があることが分かることが多かったのです。うまくいったときもだめなときも、誰のためにも何のためにもと考えて全力投球を続けることで道が開けるものどつくづく思っています。(要約文責 宮下)

❖ 12月のハッピーバースデー
 小磯優子 会員 (22日生れ)
 小堀 彰 会員 (14日生れ)
 田中結加 会員 (15日生れ)
 村松 南 会員 (3日生れ)



❖ 奉仕活動報告 (福元智子奉仕活動委員長)
 育成園から12月25日(月)午後5時30分からクリスマス礼拝会を行いますので、是非参加下さいとの申入れがありましたので、参加できる会員はご連絡下さい。

例会報告 第686回 2017年12月11日(月)

出席率 69.23% (出席者33名+メンバー3名/正会員55名-休会3名)

❖ 幹事報告 (富田洋平幹事)
 ・本日は12月理事会の議事録を配布しました。
 ・来週12月18日(月)の例会は、12月21日(木)の合同クリスマス例会に変更されていますのでご注意ください。
 ・本日今年度後期分会費の請求書をお配りしましたのでよろしくお願いたします。

❖ ボール ハリス フェロー賞授与 (秋葉良子会長)
 野呂直前会長から秋葉良子会長にロータリー財団からのボール ハリス フェロー賞が授与されました。

❖ 米山功労者表彰 (小池富美子会員)
 ・米山記念奨学財団からの第11回目の米山功労者メジャードナー表彰状が秋葉良子会長から小池会員に授与されました。
 ・同じく当クラブの寄付総額が設立16年目で1100万円を超えたので、米山功労クラブ表彰状が届きました。

❖ RLIセミナー修了証授与 (時枝紀子会員)
 秋葉会長から時枝紀子会員にRLIセミナー修了証が授与されました。(時枝会員談話) 遅ればせながらRLIセミナーⅢまで修了できました。RLIは本当に広範囲の論点をディスカッション方式で学ぶもので、とても勉強になりました。今後は、地区独自のセミナーですが、常設化をはかっていくそうです。皆様が多く参加されることを期待しております。本日はどうもありがとうございました。

❖ パナー交換 (丸山富美江会員)
 29年12月5日(火) オーストラリア「シドニーRC」
 会場 カーソルリー プティクホテル (小さいけど由緒あるホテルの様でした)
 点鐘 12時30分
 卓話 (経済企画庁担当大臣)

社会全体がすべてデジタル化になって、例えば役所の申請も紙ベースでは受け取れない様になる。年配のロータリーの人たちも積極的に取り入れていくというような話を自分のアイホーンを使って説明していた。

食事のあと、パナー交換・娘の通訳で東京中央新ロータリーのクラブ全体の写真が載っている「ロータリーの友」を見せながら紹介、どのような奉仕活動をしているかをお話しました。



秋葉良子 会長 今年最後の通常例会となりました。半年間お世話になりました。来年の半年、又、宜しくお願い致します。
 甘糟裕子 会員 お休みばかりして申し訳ございません。この度は可愛い誕生日ケーキをありがとうございました。皆様、お健康に良いクリスマス、良いお年をお迎えくださいませ。
 石井本子 会員 今年最後の例会となりました。お世話になりました。ありがとうございました。
 井関和美 会員 私事ですが…。12月私の書籍が中国で出版され、とても嬉しいのでニコニコします♡
 大盛敬子 会員 本日、例会後の練習ご参加の方、どうぞ宜しくお願い致します。
 清宮普美代 会員 本日、宍戸さんの講演です。いろいろおもしろい展開なされているので皆さんにシェアしたいです。
 丸山富美江 会員 シドニーRCに行き、パナー交換と私共のクラブ紹介をして来ました。

にここご合計 22,000円 / 今期累計 477,180円

❖ 卓話 鎌倉マインドフルネス・ラボ株式会社
 代表取締役 宍戸幹央 様
 「ZEN2.0などの鎌倉の活動を通して実現したいこと
 ～人工知能時代の鍵、禅、マインドフルネス。そしてその先に～」



・麻布高校卒。東京大学応用物理 物理学科卒。東京大学大学院 新領域創成科学研究科 修了。日本IBM入社と3年勤務を経て、グローバル人材育成など大手企業の人材育成を手掛けるアルー株式会社の創業期に参画し、企業研修講師部門を立ち上げ責任者として多様な企業の人材育成に関わる。その後、株式会社イノセントの取締役に就任し、現在は鎌倉マインドフルネス・ラボ株式会社の代表取締役として鎌倉を中心に禅・マインドフルネスの学びを展開すると共にAMBITIONERS LABの共同代表として企業の組織変革を手がける。
 ・2017年9月には鎌倉・建長寺にて禅・マインドフルネスの初の国際フォーラムZEN2.0を開催。「ZEN2.0は、日本の禅の中心地である鎌倉から、'Open Zen'を志して対話と発信を行なう新しい場です。私たちは、本物の禅の文化と実践を、日本人だけでなく、より広く世界の人々に紹介したいと願っています。本イベントは、カマコンという団体からスピンアウトした企画で、鎌倉市民が中心となり、完全に民間の手だけで実現・非営利で開催するイベントで、禅とマインドフルネスについて語り合う国際会議になっています。当日は、禅宗の老師やマインドフルネスの指導者に加え、ITやテクノロジー、教育、経営、アート、音楽、健康、スポーツなど、禅とマインドフルネスを探求するという共通の目的のもとに、さまざまなバックグラウンドをもった多彩な登壇者が一堂に集まります。」
 ・そんな流れをより美しく、よい流れにしていきたいにも、鎌倉会議・ZEN2.0から派生したウェブとリアルな2つの場を軸に、鎌倉というフィルターを通して多くの人たちに伝えるべきコト・モノ・ヒトなどを発信するKamakura GatheringのキックオフLaunch Partyが2017年10月8日に海を一望できる素敵な場所、材木座テラスにて行われました。参加者はZEN2.0運営メンバーを中心にしつつ、新たなコミュニティからの流入もあり、子どもから大人・鎌倉在住から京都在住・個人事業主から文化人、ソーシャル活動家、起業家と多様性に溢れた方々が集まりました。終始、和気あいあいとした雰囲気で行進していた会の中盤では、グループに分かれ、カマコンパレー流「プレスト会議」も行いました。

・私は、高校時代から理科系でしたが、人間の意識と無意識の世界の深い可能性を信じるようになり、大学で量子力学を専攻したのも何かヒントが得られるかもしれない、と幅広く探求を続けたいと考えたからです。鎌倉に移住したのは、海と山と自然に囲まれ、日本古来の神社(鶴岡八幡宮)、仏閣(円覚寺、建長寺など)も存在し、精神世界の中心でもあり、自分の子どもたちにも良い環境を与えてくれると信じたからです。
 ・鎌倉の地を、「カマコンパレー」と名付けて、ITベンチャー7社を集めてシリコンパレー流に何か企画できないかと立ち上げて、「Kamakura Gathering」や「鎌倉会議2016」のイベントを実行しました。毎月1回第3木曜日に1人1000円を払って鎌倉の住人たちが集って何か面白いボランティア活動はできないか話し合っています。1人5分以内のプレゼンをして、出席者とプレゼンストーリーミングをすることで共感者を募るのです。くだらないアイデアからでも面白いイベントが成長することもあります。「カマコン」の活動は、アメリカの雑誌「フォーブス」にも取り上げられたので、「Zen2.0」のイベントに海外から講演者を呼ぶのにもとても役に立ちました。
 ・鎌倉宗教者会議は、東日本大震災の1ヵ月後に鎌倉の三大宗教(神道、仏教、キリスト教)が垣根を越えて集い、追悼復興祈願祭を挙行了ったことがきっかけで、毎年のように各宗派の施設を廻って合同の催しやワークショップ、講演会などを行っています。その次の年はキリスト教会で、円覚寺の管長が讃美歌を歌う珍しいイベントがあり、私も参加しました。
 ・「江ノリオリンピック盛り上げ隊」活動

私が20年来ヨットをやっている関係で、江の島がオリンピックヨット競技会場となったことを切っ掛けに、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け「江ノリオリンピック盛り上げ隊」という市民活動団体として、世界中の人々が来る祭典に自ら積極的に関わってとことん楽しんでさらに五輪後に残る良い遺産を残したい!という思いから活動を始めました。その活動として、2016年11月19日(土)に「江ノリオリンピックミーティングVOL.3」と題したイベントを開催しました。

・2020年、江ノ島に世界中の人々が来る祭典がやってきます。湘南・日本の素晴らしい景色を楽しませ、たくさんの出会いが生まれる。競技で活動が生まれ、セーラーが増える。インフラが整備され、新しい仕組みや活動が生まれ住みやすい街になり、経済も活性化される……かもしれないし、そうならないかもしれない。人任せでも2020年はやってきて、終わります。

・本業のAMBITIONERS' LAB
 私たちは、グローバルなビジネス経験と、リーダーシップ教育、人材育成の高度な専門技術を持ち、人・組織・社会のイノベーションに貢献することにコミットしたプロフェッショナル有志の集まりです。私たちは、過去に類を見ない大変化の時代に生きています。様々な課題解決を通して、善い目的・善い未来を創造するイノベーションに参画することができるともエキサイティングな時代です。イノベーションを起こしていくには、自らの個性とその存在を活かし、多様な人々とのコラボレーションを通して未来を創り出す力を持つ個人や、その個人が織りなす組織や社会を生み出していく必要があります。そのような視点から、企業の人材・教育・組織変革のお手伝いをすすめています。(要約文責宮下)

クラブ週報 宮下文夫・小堀 彰・落合守征・左明貴子
 編集担当 上田美帆・吉田しおり・小磯優子・野村順子